

社会福祉法人かすみ会 かすみ保育園の自己評価		よくできた A できた B あまりできなかった C できなかった D			
		A	B	C	D
<b>1. 保育に関する基本</b>		A	B	C	D
	保育士一人一人が、園の保育理念・保育方針を理解している。	○			
	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	○			
	園児一人一人の主体性を大切に保育をしている。	○			
	保護者の子育てを手助けし、成長の喜びを共感している。	○			
	園の理念や保育方針を理解して、保育計画等が立てられている。	○			
	健康的に過ごせるよう、保育活動の配分に気をつけている。	○			
	園児の人格尊重を意識して一人一人の特性や発達の過程に即した保育を行っている。	○			
	業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。		○		
<b>2. 保育計画・指導計画</b>		A	B	C	D
	保育方針が達成できるような保育課程や保育計画を立てている。		○		
	全体的な計画の作成には、職員が参加している。	○			
	日常の保育を通して、子どもの思いや気持ちを汲み取り指導計画を立てている。		○		
	各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。		○		
	支援の必要な子には、その子に応じた指導計画を立てている。		○		
	日々の保育の連続性や季節の変化、環境設定を配慮して指導計画を作成している。		○		
	長期的な見通しをもって子どもの実態や状況の変化に応じて、計画の見直しや改善を行っている。		○		
	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し計画を立てる。	○			
	園全体としての評価を行い、全職員の共通理解のもと改善に努めている。		○		
<b>3. 保育内容</b>		A	B	C	D
《0歳児保育》					
	生活リズムに合わせて、睡眠をとることができるように静かな空間が確保し、仰向けを認識して、体温、顔色、呼吸の安全チェックをしている。	○			
	さまざまな音・形・色・感触に触れ合うことを遊びの中に取り入れている。	○			
	遊びを通して身体発達の援助を行っている。	○			
	誤飲、転倒など重大事故につながらないように安全環境に配慮している。	○			
	離乳食については、家庭や、栄養士と連携をとりながら、一人一人の状況に配慮して行っている。		○		
	クラス替えて保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応している。	○			
《1歳2歳児の保育》					
	食事は楽しく自分で食べようとする気持ちを大切にしている。	○			
	身の回りを清潔に保つ習慣が少しずつ身につくように援助している。	○			
	自分で衣服を着脱しようとする気持ちになれるよう援助する。	○			
	一人一人の排泄状況に応じた配慮をしている。	○			
	保育士等との楽しい言葉や関わりの中で安心して過ごせるようにしている。	○			
	自分の思いを伝えることができ他の園児との関わり方を身につけられるよう援助している。	○			
	玩具や遊具は安全で、興味や発達に合った物を選び使用している。	○			
	積極的に戸外遊びを取り入れながら、身体の発達やいろいろな素材の感覚を楽しんでいる。	○			
	絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	○			
	歌や手遊び、全身を使う遊びを取り入れている。	○			
	体調、機嫌、食欲などに気を配り園児の健康を観察している。	○			
	事故防止に努めながらさまざまな遊びを取り入れている。		○		
《3歳4歳5歳児》					
	基本的な生活習慣や態度が身につくよう保育している。	○			
	体を動かす楽しさを知り、積極的に体を動かそうとすることができるように働きかける。	○			
	集団生活のきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶように働きかけている。	○			

良いこと、悪いことを考えながら、相手を思いやる気持ちをもてるように援助している。	○			
自信、自己肯定感を持てるような言葉かけや援助をしている。	○			
数や形、文字に触れる機会を取り入れている。	○			
季節に合わせた遊びや行事を取り入れている。	○			
音楽に楽しく向き合えるように歌ったり、踊ったり、リズム楽器を使うようにしている。	○			
一人一人の園児の表現の過程を大切に、自己表現を楽しめるよう心がけている。	○			
<b>3. 保健衛生</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
衛生管理のための取り組みを行っており、職員の共通理解も十分図られている。	○			
感染症発生時の対応はマニュアル化され、職員にも周知している。	○			
園児の既往症について、すべての職員が共通認識を持ち、個々に合わせた対応を行っている。	○			
アレルギー児に対しての食事は主治医からの指示を得て除去食等を行っている。	○			
不適切な養育の兆候や虐待が疑われる場合には、関係機関と連携対応している。	○			
清潔に保たれ、子どもが心地良く過ごせるよう配慮している。	○			
保育室の温度、湿度、換気、などに配慮している。	○			
<b>食育</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	○			
栄養士・保育士等が連携し、よりよい給食になるよう努めている。		○		
挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えている。	○			
栽培、収穫食材を調理して食べる機会をつくっている。	○			
3歳児以上はおやつを手作りすることが楽しみになるように援助している。	○			
<b>安全対策</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
ヒヤリハットを共有し事故防止に努めている。	○			
施設の安全点検を行い、改善している。		○		
災害の発生に対しマニュアルに沿った動きがとれように訓練している。	○			
外部からの侵入に対し、マニュアルに沿った動きがとれように訓練している。	○			
さまざまな災害を想定して、避難訓練を行っている。	○			
消火器、火災受信機、配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている。		○		
保護者との連絡体制や引渡し方法が確認されている。		○		
<b>子育て保護者支援</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
保護者と良好な関係を作ろうとしている。		○		
保護者からの意見を保育計画に反映させている。		○		
園の保育内容や子どもの様子がわかるような発信をしている。	○			
送迎の際の対話や連絡帳などで、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけている。機会を設けて相談に応じたり個別面談を行っている。	○			
子どもの医療や保健に関する問題について、外部の関係機関と連絡、相談することができている。		○		
<b>職員構成・役割分担・研修</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
職員の仕事や役割を分担し、各々が連携を取って円滑な園経営ができている。		○		
園内研修と園外研修を行い質を高めている。			○	
保育中に知り得た園児や家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	○			
保護者や地域の人からの相談事項について秘密保持を徹底し、守られている。	○			
問題意識を共有しながら職員間で共通理解し、協力している。	○			
<b>小学校や地域社会との連携</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
小学校と交流を行うために、双方で会議や計画をする。			○	
小学校や役場、地域との交流を行っている。				○
高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。				○
地域社会に園の様子を発信するために情報を公開している。			○	
・今年度は五月からのコロナウイルス感染症蔓延のため、休園やクラス閉鎖・短時間保育・登園自粛等をお願いしたりと大変な一年でした。複数名の職員が、り患し保育を継続することができない時期もありました。高齢者施設との交流や小学校との交流会もできませんでした。感染症対策をより一層徹底し、行事も縮小したり中止しました。				